

研究紀要・年報

縄文の森から

From JOMON NO MORI

第18号

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター

鹿屋市小牧遺跡で出土した駿河湾系土器について

北園 和代

鹿児島県内における中世のトイレ遺構
—科学分析により裏付けされた諏訪ノ前遺跡のトイレ遺構を中心に—

平嶺 浩人

薩摩・大隅における火打石の登場と石材

藤木 聡

令和6年度 年報

鹿児島県立埋蔵文化財センター

2025. 10

研究紀要・年報

縄文の森から

第18号

二〇二五

鹿児島県立埋蔵文化財センター

『縄文の森から』第18号 目次

始良市加治木町干迫遺跡の出土資料紹介（2）

鹿児島県立埋蔵文化財センター・・・・・・・・ 1

鹿屋市小牧遺跡で出土した駿河湾系土器について

北園 和代・・・・・・・・ 39

鹿児島県内における中世のトイレ遺構

—科学分析により裏付けされた諏訪ノ前遺跡のトイレ遺構を中心に—

平嶺 浩人・・・・・・・・ 45

薩摩・大隅における火打石の登場と石材

藤木 聡・・・・・・・・ 61

令和6年度年報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69

令和6年度
年報

県立埋蔵文化財センター
第一調査系の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	名主原遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	(主)鹿屋吾平 佐多線(吾平道 路)道路改築	本調査	1,974	5月 ～ 11月	弥生中期		土器(山ノ口式)	○昨年度に引き続き多数の 竪穴建物跡を検出した。 大型の建物跡の多くは花 弁型を成し、小型のものは 方形建物跡が多い。大型の 建物跡からはガラス小 玉が多く出土している。 ○鹿児島県では初となる 鉄製穂摘具が出土した。	岩永 新和技 術コン サルタ ント(株)
								弥生後期 ～ 古墳前期	竪穴建物跡63基、溝状 遺構4条、掘立柱建物跡 1基、ピット128基、硬化 面2か所	土器(高付式、中津野式、 東原式、免田式)絵画土 器、砥石、石製穂摘具、 磨・敲石、小型石ノミ、石 製紡錘車、棒状製品、鉄 鏝、鉄製穂摘具、鉄片、 不明鉄製品、ガラス小 玉、ガラス製品、管玉		
								古墳後期		須恵器		
								近代	戦闘機墜落痕跡(日本軍 機)1か所	ジェラルミン片、ケーブル 類、12.5mm機銃弾(米軍)		
2	下城跡	始良市	土木部 道路建設課	(一)十三谷重 富線、北山2工 区整備	本調査	4,100	5月 ～ 2月	縄文		土器片、打製石斧、磨製 石鏝、石皿	○狭い調査範囲ながら各 曲輪・空堀等の中世面の 検出が出来た。 ○各曲輪には1基ずつか まど状遺構が検出された。 ○曲輪5においては2間× 3間を超える庇を持つ、比 較的大きな掘立柱建物跡 を検出した。 ○南九州のシラス台地の 城郭で度々検出されてい る、長さ約1.2m×深さ約 1.7mの隅丸方形型の竪穴 土坑が検出された。	新保 大福コ ンサル タント (株)
								中世	掘立柱建物3棟、かまど 状遺構3基、土坑5基、 硬化面2条、空堀5、虎 口状遺構、段切岸、土 壁、ピット多数	龍泉窯系青磁碗、漳州窯 系青花碗、景德鎮窯系青 花碗、備前焼播鉢、常滑 焼片、青磁、白磁、土師 器、フイコ羽口、埴塼、金 床、鍛造刺片、碁石、洪 武通宝		
								近世		肥前系磁器碗、天保通 宝、薩摩焼播鉢、壺、土 瓶		
								時期不明	硬化面(J-11区)			

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	名主原遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	(主)鹿屋吾平 佐多線改築 事業	整理	-	R4 ～ R6	縄文	-	土器(指宿式)	○絵画土器や石庖丁、砥 石が多く出土している。 ○免田式土器やジョッキ形 土器など他地域との搬入 や模倣と考えられるものが 確認されている。 ○破鏡や線刻石庖丁、ガ ラス玉などの希少な遺物が 確認されている。	黒木 岩平
								弥生中期	-	土器(山ノ口式)		
								弥生後期 ～ 古墳	竪穴建物跡135基、溝状 遺構9条、道路状遺構3 条、埋設土器3基、土器 集中11か所、土坑86基、 掘立柱建物跡・ピット群4 基、ピット1017基、墓・埋 葬施設3基	土器(高付式、免田式、中 津野式、東原式)、丸玉、 勾玉、紡錘車、不明土製 品、石庖丁、石庖丁未製 品、砥石、磨・敲石、台 石、軽石製品、磨製石 鏝、打製石鏝、磨製石 斧、鉄鏝、鉄斧、鉄鏝、鉄 針、鉄鏝、鉋、鉄片、鉄 塊、鋳造刺片、不明鉄製 品、破鏡、鉄製石庖丁、 ガラス玉、ガラス勾玉		
古墳後期	溝状遺構3条、道路状遺 構3条	須恵器										
2	中組遺跡	天城町	伊仙天城線 真瀬名工区 道路改築事業	報告書 刊行	-	-	R5	中世	-	青磁、カムイギキ、中国・ 東南アジア産陶器	○沖縄産の施軸陶器・無 軸陶器が出土している。 食膳具は加治木・始良系 が多く、貯成具は苗代川産 が多く出土している。	上浦 星野 黒川
								近世・近代	溝状遺構1条、土坑5 基、柱穴11基、石垣1基	近世陶磁器(肥前・薩摩・ 沖縄)		
3	柳迫遺跡	曾於市	道路維持課	特定交通安全 施設等整備事 業(深川工区)	報告書 刊行	-	R5	縄文後期	-	土器(丸尾式、西平式、中 岳Ⅱ式)、石鏝、磨製石 斧、石皿	○文明ボラで覆われ、南北 にのびる溝状遺構が検出 された。 ○遺物では中岳Ⅱ式土器 を中心に出土している。	上浦 黒川
								古代	土坑2基	土師器(壺)		
								中世	溝状遺構4条	-		
								時期不明	帯状硬化面1条	-		

県立埋蔵文化財センター
第一調査系の成果(県事業関係の調査)

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (m)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
4	鹿児島城 二之丸跡	鹿児島市	商工政策課	環境保健センター城山庁舎跡地文化財調査事業	報告書 刊行	-	R5	近世	溝状遺構2条、瓦溜、柱穴列、土坑、瓦列(雨樋遺構か)	瓦(平・丸瓦・軒丸・軒平瓦)、中国陶磁器、国産陶磁器(薩摩焼、肥前系、琉球)、木製品(将棋盤か)、土師器、瓦質土器	○近世の柱穴列や溝状遺構が検出された。中でも柱穴列は境となる塙の控え柱の可能性があり、二之丸が拡大・整備された時期の貴重な資料となる。	星野 黒木
								近代	石列、礎石、石組排水溝	瓦、陶磁器	○17世紀後半以降の将棋盤と考えられる木製品が土坑の中から出土した。全国でも4例目の出土例となる可能性がある。	
5	河ロコレクション (高橋貝塚)	南さつま市	鹿児島県教育委員会	よみがえる「河ロコレクション」の世界	報告書 刊行	-	-	弥生時代前期～中期	貝塚、住居跡1基、土坑4基、礎集中1基	・土器類 縄文時代晩期土器(夜臼式土器) 弥生時代前期土器(高橋I式・II式、板付I式・II式を中心とする)、弥生時代中期前葉土器、土製品(紡錘車など) ・石器(石鏃、石包丁、磨製石斧、柱状片刃石斧、穿孔具、石錐、石匙、打製石斧、磨・敲石、石皿、砥石、軽石製品など) ・骨角器(釣針、骨鏃、尖頭器、垂飾品など) ・貝製品(貝輪、貝輪未製品、貝刃) ・管玉・自然遺物	○前期末から後期初頭にかけての有明海沿岸部の薬棺破片が多く出土し、丹塗土器も出土している。石器は剥片石器の石材として、腰岳の黒曜石と多久産の安山岩が、柱状片刃石器の石材には層灰岩が、石包丁の石材に葦青石ホルンフェルス製が使われている。有明海沿岸部から作られるようになる腹面貝輪加工品が、中継地を介さず消費地に届くようになる。高橋貝塚の存在価値は低下し、遺跡は衰退するといわれていたが、高橋貝塚の役割は終焉をむかえず、前期末～中期初頭に有明海ルートが開かれ、高橋貝塚を舟運窓口とする高橋遺跡は、中期を通じて中継地として機能したと考えられる。	堂込 宮崎
6	南の縄文文化 (上野原遺跡ほか)	霧島市ほか		南の縄文文化魅力発信事業	整理 活用	-	-	縄文	-	【上野原遺跡】 平柄式土器 塞ノ神式土器 【加栗山遺跡】 加栗山式土器	○過年度に調査・報告されている上野原遺跡・加栗山遺跡の再整理作業を行った。未報告資料の接合・復元等を行い、新たに復元した資料を中心に、かこしま遊楽館(東京都有楽町)や志布志市埋蔵文化財センター、伊集院文化会館等で展示を行った。また、学校等への出前授業では、計21校900名以上の子どもたちへ、実際の出土品に触れてもらった。	宮崎 上浦

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	二子塚B遺跡	大崎町	土木部道路建設課	黒石串良線(二子塚工区)地方特定道路整備事業	本調査	400	5月～6月	縄文早期	埋設土器1基, 集石3基, 土坑1基	土器(手向山式, 塞ノ神A式, 縄文早期後葉), 打製石鏃, 磨石, 剥片・チップ	○縄文時代早期後葉の集石3基(うち1基からは複数の炭化物採取)及び塞ノ神B・菅浜式土器の埋設土器1基, 落とし穴の可能性のある土坑1基の検出。 ○縄文時代後・晩期の落とし穴の可能性のある土坑1基の検出。	山下廣
								縄文後晩期	土坑1基			
								時期不明	ピット3基			
2	栴城跡	さつま町	鹿児島県教育委員会	県内遺跡事前調査事業	確認調査	530	11月	時期不明	-	木片, 種子	○加工痕のある木片や種子を検出した。 ○周辺地形踏査で, 人工と考えられる尾根上の地形を10条ほど確認した。	東山下

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	久保田牧遺跡	鹿屋市	土木部道路建設課	(主)鹿屋吾平佐多線改築事業	整理報告書刊行	-	R1～R3	縄文前期・中期	土坑17基, 落とし穴6基, 集石3基, 土器集中1か所	土器(曾畑式, 深溝式, 野久尾式, 条痕文, 船元Ⅱ・Ⅲ式, 山田平式), 打製石鏃, 石匙, 磨製石斧, 打製石斧, 磨石, 敲石, 環石, 石鏢	○縄文時代前期中葉から古墳時代編を刊行した。 ○縄文時代前・中期では, 調査範囲の北側と南側での出土状況から, 野久尾式と船元式は異なる伴出状況がみられ, 野久尾式の型式変化について検討を行った。 ○刻目突帯文土器は立塚遺跡に近接する北側から多く出土し, 遺跡間で接合した。 ○古墳時代は竪穴建物跡から篋貫式段階の壘と丸底壘が出土し, 折衷型もみられた。また, 篋貫式段階の壘と丸底壘を合わせ口にした土器棺や, 土器溜まりから杓子形土製品も出土した。	森 敏田
								縄文後期	-	土器(市来式, 丸尾式, 西平式, 中岳Ⅱ式)		
								縄文晩期～弥生	土坑4基	土器(黒川式, 刻目突帯文, 組織痕), 打製石斧, 紡錘車		
								古墳	竪穴建物跡19軒, 土坑4基, 土器棺1基, 土器溜まり1か所	土器(成川式), 須恵器杓子型土製品, 勾玉, ガラス小玉, 紡錘車, 軽石製有孔製品, 棒状礫, 炭化材, 鉄製品		
2	立塚遺跡	鹿屋市	土木部道路建設課	(主)鹿屋吾平佐多線改築事業	整理	-	R2～R4	縄文晩期～弥生	環状配列土坑群48基, 石皿片または礫等を伴う土坑61基, 土坑24基, 柱穴・ピット1605基, 巨大柱穴13基, 遺物集中1基	土器(黒川式, 干河原段階, 刻目突帯文), 土製勾玉, 打製石斧, 石鏢, 打製石鏃, 磨製石鏃, 石胞丁, 石皿, 台石, 剥片石器, 磨石, 敲石, 軽石製品, 管玉	○縄文時代晩期から弥生時代の遺構・遺物の基礎整理作業を実施 ・個別遺構図と遺構配置図の作成 ・環状配列土坑の時期と性格等について検討 ・遺物の実測 ・年代測定等の自然科学分析を実施	倉元 藤島 山下
								弥生中期	-	土器(山ノ口式)		
								古墳	柱穴・ピット1基	土器(中津野式, 東原式, 辻堂原式)		
					報告書刊行			古代	畝間状遺構626条, 掘立柱建物跡5棟, 柱穴・ピット1359基, 土坑14基, 古道9条, 紫コラ堆積14基, 溝状遺構3条	土師器(杯・皿・埴・鉢・壺・紡錘車・墨書土器等), 須恵器(壘・杯・はそう・壺・壺等)	○古墳時代以降編を刊行 ○古墳時代・須恵器の坏蓋や, 丸底壘の出土 ○古代・自然災害(紫コラ)前後の土地利用の推移 ・他遺跡の成果と合わせ, 台地上の土地利用の様相 ○近世・薩摩焼や肥前焼等の出土	
								近世	-	陶磁器(龍門司・苗代川・肥前系等)		
								時期不明	柱穴・ピット299基, 土坑5基	-		

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
3	二子塚B遺跡	大崎町	土木部道路建設課	黒石串良線(二子塚工区)地方特定道路整備事業	整理報告書刊行	—	R4 ~ R6	縄文早期	竪穴建物跡1軒、土坑12基、ピット62基、遺物集中1か所、集石遺構12基、埋設土器1基	土器(前平式、加栗山式、吉田式、辻タイプ、石坂式、下刺釜式、手向山式、平柄式、塞ノ神式、菅浜式)、石鏃、石槌、石匙、磨製石斧、打製石斧、磨・敲石、石皿・台石、チップ、フレーク	○縄文時代早期(主に後葉)の集石の検出や落とし穴、埋設土器を検出。一部の集石内炭化材や種実の分析により種類を特定。他に、当該期と考えられる落とし穴、埋設土器の検出。○縄文時代後期の中岳Ⅱ式土器を埋土内に含む竪穴建物跡や土坑の検出。ほかに、落とし穴を検出。○古墳時代の竪穴建物跡の検出。一括資料による土器の属性変化(宮崎平野の遺物との関係性を含む)を知る資料と評価。○現道と並行する古道の検出。当地における道の位置の推移。	廣 中野
								縄文後期・晩期	竪穴建物跡2軒、立石遺構2基、土坑3基、遺物集中4か所、ピット40基(内、6基遺物含む)	土器(中岳Ⅱ式、入佐式、黒川式、組織痕)、打製石鏃、石鏃、石匙、打製石斧、磨製石斧、磨・敲石、台石・石皿、チップ、フレーク		
								弥生	—	土器(刻目突帯文、山ノ口式)		
								古墳	竪穴建物跡3軒、土坑11基、ピット133基	土器(注堂原式、東原式、世賀式)		
								時期不明	溝状遺構5条	刀子、陶磁器(近世)、古銭		
4	八重石遺跡	西之表市	防衛省	馬毛島基地(仮称)建設事業	整理報告書刊行	—	R5	縄文草創期 ~早期	土坑1基	土器(条痕文)、磨製石鏃、磨製石斧、磨・敲石、ハンマーストーン、石皿・台石、剥片、チップ、フレーク、二次加工剥片、石核、礫器	○縄文草創期~早期の連穴土坑1基が検出。○縄文早期の条痕文土器と縄文晩期の黒川式土器、縄文草創期~早期の石器が出土。○時期不明の遺物は、旧石器の可能性もある。	中野 堂込
								時期不明	樹痕29基、噴鏢	—		

市町村支援

No	市町村名	遺跡名	支援要件	時代	注目される成果・支援内容等	市町村担当	センター担当者
1	出水市	出水城跡	整理作業 (市内古墳調査等事業)	中世 ~ 近世	【支援内容】 ・整理作業遺物指導 ・報告書作成技術支援	外村 さゆり	関 明恵 黒木 梨絵
2	垂水市	垂水島津家墓所	確認調査 (垂水島津家墓所災害復旧事業)	近世	【支援内容】 ・確認調査技術支援	高嶺 光佑	黒川 忠広
3	さつま町	宗功寺跡	本調査 (町単独発掘調査事業)	中世 ~ 近世	【支援内容】 ・発掘調査技術支援	佐藤 真人	平 美典
4	南種子町	野木田遺跡	本調査 (経営体育成基盤整備事業 釜永地区)	古墳	【支援内容】 ・発掘調査支援 ・民間委託積算支援	小脇 有希乃	隈元 俊一 飯島 えりな 黒川 忠広
5	志布志市	福山氏庭園	整理作業 (市内遺跡発掘調査等事業)	近世	【支援内容】 ・整理作業遺物指導	川路 卓太郎	関 明恵
6	伊佐市	浜場遺跡	試掘調査 (開発対応)	古墳	【支援内容】 ・試掘調査技術支援	中村 守男	黒川 忠広
7	肝付町	塚崎1号墳	確認調査 (町内遺跡発掘調査等事業)	古墳	【支援内容】 ・確認調査技術支援	清田 祥之	堂込 秀人
8	徳之島町	大谷山遺跡	整理作業・報告書作成支援 (町内遺跡発掘調査等事業)	中世	【支援内容】 ・報告書作成技術支援	大屋 匡史	宮崎 大和
9	和泊町 知名町	沖永良部島の墓所群	報告書作成 (町内遺跡発掘調査等事業)	近世	【支援内容】 ・報告書作成技術支援	北野 堪重郎 仲田 眞一郎	黒木 梨絵

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第一係の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	南水ヶ迫B	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号油津・夏井道路建設	本調査	8,700	5月～2月	旧石器時代 ナイフ形石器文化期(XVI層)	遺物集中部2か所	剥片・礫片	旧石器時代では、複数の層から三稜尖頭器や剥片などが出土した。また、遺物集中部や炭化物集中部などを検出した。縄文時代早期では、集石10基を検出した。南西～北東方向に検出されており、掘り込みがない礫数の多いものと、礫数の少ないものに分けられる。また、連穴土坑1基を検出した。 中世では、昨年度検出された遺構に続く、溝状遺構と古道(硬化面)を数条検出した。	林田中原
								旧石器時代 ナイフ形石器文化期(XIII層)	—	スクレイパー、加工痕のある剥片、剥片、砥石、礫		
								旧石器時代 ナイフ形石器文化期(XII層)	—	黒曜石剥片		
								旧石器時代 ナイフ形石器文化期(XI層)	—	三稜尖頭器、ナイフ形石器、使用痕のある剥片		
								旧石器時代 細石刃文化期(X層)	炭化物集中部 遺物集中部1か所	細石刃、細石刃核、ブランク?、スクレイパー、剥片、石斧基部		
								縄文時代早期	土坑(連穴土坑)1基 集石10基	前平式土器、石坂式土器、平裕式土器、ミニチュア土器、打製石鏃、磨・敲石		
								縄文時代後期	—	中岳Ⅱ式土器、打製石鏃		
								弥生時代	—	刻目突帯文土器		
								古墳時代	—	成川式土器		
								中世	土坑3基 溝状遺構2条 古道(硬化面)2条	—		
近世・近代	土坑1基 溝状遺構2条	—										
2	野首	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号日南・志布志道路建設	本調査	9,200	5月～2月	旧石器時代	—	細石刃核(IV層出土)	旧石器時代は、縄文時代の層から遺物が1点出土した。 縄文時代早期は、前年度の調査地で多数の集石が検出したが、今度は1基のみを検出した。地点・地形により遺構密度に濃淡があることが分かった。土器型式は複数あるが遺物量は少ない。 古代は、炭化物が集中する土坑を1基検出した。今後、分析等を行い、遺構の性格を把握する予定。 中世の遺構は道跡と考えられる道状硬化面を検出し、調査区の広範囲から外国産陶磁器、国産陶磁器などの遺物が多数出土した。 このほか、平行する溝状遺構を数条検出しており、時期検討中である。また、雁股鏃をはじめとする鉄製品が出土している。	岩澤川野
								縄文	土坑1基 集石1基	早期土器、丸尾式土器、指宿式土器、西平式土器、打製石鏃、磨製石斧、打製石斧、敲石、石皿、石鏟		
								弥生時代	—	土器片		
								古墳時代	—	成川式土器		
								古代	土坑1基(炭化物集中)	土師器、土鏟		
								中世	道状硬化面3条	白磁、青磁、華南三彩、土師器、天目碗、瓦器、刀子、四耳壺、国産陶磁器		
								時期検討中	土坑4基 溝状遺構(数条) 焼土	鉄製品、鉄鏃、水晶片、古銭		

整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積(m ²)	調査年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
3	野首	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号日南・志布志道路建設	整理	—	R5 R6	旧石器時代 ナイフ形石器文化期	礫群2基	三稜尖頭器	旧石器時代は、礫群2基が検出され、三稜尖頭器などの遺物が出土した。 縄文時代早期は、河岸段丘による傾斜地から、大小様々な規模の集石85基が検出され、打製石鏃や磨石、敲石、スクレイパーなどの遺物が出土したが、土器の出土は少ない。 縄文時代前期～後期は、深浦式(臼木山段階)、丸尾式、中岳Ⅱ式、西平式など、様々な型式の土器が出土した。 古墳時代は、竪穴建物跡1基を検出した。 古代は、副葬品と考えられる土器を伴った土坑墓が1基検出された。 このほか、時期は特定できていないが、掘立柱建物跡1基、落とし穴1基、埋土中からイボキサゴと考えられる貝殻が検出された土坑などが検出された。	相良西園
								縄文時代早期	土坑2基 集石85基	石坂式土器、下剥釜式土器、打製石鏃、スクレイパー、チップ、磨石、敲石、凹石、石皿		
								縄文時代前期～後期	—	深浦式土器、丸尾式土器、中岳Ⅱ式土器、西平式土器、打製石鏃、擦切石器、磨石、敲石、凹石、石皿、石鏟		
								古墳時代	竪穴建物跡1軒	成川式土器(辻堂原式)		
								古代以降	土坑墓1基	土師器、須恵器、陶磁器		
時期検討中	落とし穴1基 土坑2基 (1基は貝殻入り) 掘立柱建物跡1軒	陶磁器、貝殻										

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

(公財)埋蔵文化財センター
調査第二係の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象表面積(m)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
4	新城跡	阿久根市山下	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設	整理・報告書刊行	-	R4 R5	中世	掘立柱建物跡5軒 柵列2基 土坑3基 炉跡10基 溝状遺構1条 ピット72基 虎口状遺構1基 土壘1基	土師器、中世須恵器、播鉢、国産陶器(常滑焼、古瀬戸、備前焼等)、輸入磁器(青磁、白磁、青花等)、輸入陶器(沖縄Ⅲ類、Ⅴ類壺、東南アジア系鉢)、瓦質土器、土鍾、台石、滑石製品、鉄製品、碁石、羽口、木製品	遺跡は、阿久根市山下に位置し、高松川左岸の標高約30～35mの台地上に所在する。東側に位置する愛宕山には、中世莫祢氏の本拠地である阿久根城跡がある。新城跡は、その西麓の台地上に点在する山城の一つであり、中世において歴史的に重要な役割を果たした地域といえる。	弓場川口(北園)
								近世以降	炉跡1基 集石1基	陶器(肥前系、薩摩焼等)、磁器(染付等)、石皿、煙管	発掘調査では、西台地で虎口(出入口)の可能性のある大型土坑と通路状遺構から成る虎口状遺構など中世山城の特徴をもつ遺構が発見された。虎口状遺構は、防御施設と考えられる。他にも播鉢、鉄器、近世の陶磁器、石皿などの遺物も出土した。	
5	諏訪ノ前	阿久根市波留	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設	整理・報告書刊行	-	R5	縄文時代	-	曾畑式・市来式・西平式・上加世田式・三万田式土器、石鏃、磨砕石、石斧、石錘、石製品	諏訪ノ前遺跡は阿久根市波留に所在し、阿久根市内を流れる高松川左岸の標高約35m～30mの斜面上に立地する。遺跡周辺の地域は古代の英祢駅があったとされる比定地のひとつであること、阿久根氏の居城である阿久根城をはじめ居城跡が点在するなど、特に古代～中世にかけて歴史的に重要な役割を果たした地域であるといえる。	松山平嶺
								古墳時代	-	成川式土器(東原系・笹貫式)	今回の調査では、中世の溝状遺構、炉跡、掘立柱建物跡、土坑などが検出された。その中でも、科学分析によって裏付けられたトイレ遺構は南九州で初めての例となり貴重な成果となった。遺物は、縄文～近代までの幅広い遺物が出土しているが、中心となるのは中世後半(14世紀～16世紀頃)の貿易陶磁器や、土師質及び瓦質の播鉢・火鉢である。特筆すべきは五輪塔の水輪や懸仏の本尊などの宗教的意味合いが強い遺物が出土していることであり、阿久根氏に加え、遺跡の北西側に位置する波留南方神社との関係も深いと考えられる遺跡である。	
								古代	埋壘1か所	須恵器、土師器、紡錘車、土鍾		
								中世	溝跡2条 段状遺構1か所(道跡1条含む) 掘立柱建物跡5棟 炉跡21基 トイレ遺構6基 土坑19基 ピット227基	須恵器(瓦質・土師質含む)、土師器、中国磁器(青花・白磁・青磁)陶器(備前・常滑・国外)、土鍾、磁石、石製壱片、碁石、滑石製品、水輪 懸仏本尊、洪武通宝、角釘、指貫		
								近世・近代	-	陶器(薩摩焼・肥前等)、磁器(肥前系等)、土製品、青磁獅子香炉脚部		
時期不明	-	土製品、金属製品										
6	山借シ	喜界町川嶺	農林水産省九州農政局 喜界島農業水利事業所	喜界島農業水利事業川嶺第2ファームポンド建設	整理・報告書刊行	-	R5	古代	-	焼塩土器、獣骨	遺跡は、喜界島の標高約80mの海岸段丘上に位置する中世の集落遺跡である。	小野
							中世	掘立柱建物跡1棟 柱穴54基 土坑7基 炉跡10基 石積遺構1基 溝跡1条	青磁(龍泉窯系)、白磁、青花、瑠璃釉、カムイヤキ、輸入陶器(中国産、タイ産)、初期唐津焼、滑石二次加工品、石器、鉄器、ガラス玉、錘、獣骨	発掘調査では、掘立柱建物跡、土坑、炉跡、溝跡、石積遺構などが検出され、溝跡からは、14世紀後半から15世紀前半頃の中国産青磁や白磁とともに、ウシを主体にウマやインゲン等の大量の獣骨が出土した。出土したウシの歯のストロンチウム分析により、ウシは島内で出生された個体と島外から搬入された個体を家畜としていたことが確認された。獣骨には多くの解体痕が確認され、食用としていたと考えられる。また、喜界島の遺跡で初めて確認された瑠璃釉の破片や、14世紀～16世紀頃の中国華南産の鉛で作られたガラス玉、17世紀前半の沖縄産無釉陶器が出土するなど、中世後半から近世初頭にかけての食文化や人々の交流を理解する上で重要な遺跡である。		
								近世以降	溝跡1条	国産陶磁器(沖縄産陶器、薩摩焼、肥前陶磁器)、鉄器、古銭		

※これらの成果は、今後、整理作業を進めいく中で再評価される可能性があります。利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

(公財)埋蔵文化財センター
調査第三系の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象の面積(㎡)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
7	北山	阿久根市 山下・波留	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道阿久根川内道路建設	整理・報告書刊行	-	R2 R3 R4 R5	縄文時代	土坑1基 落とし穴2基 集石5基	加葉山式、小牧3A、吉田式、別府原式、政所式、中原1類、中原2類、中原5類、塞ノ神B式、その他早期土器、春日式、阿高系(南福寺式含む)、西平式、その他後晩期土器(石鏃、スクレーパー、石鏝、二次加工のある剥片、石核、打製石斧、磨製石斧、石皿、台石、砥石、石鏝、敲石、磨敲石、磨石、凹石、軽石製品、その他石製品)	遺跡は、阿久根市山下及び波留に位置し、阿久根市内を流れる高松川左岸の標高約30~37mの台地上に所在する。遺跡周辺は古代の英祇駅比定地のひとつと考えられ、東側に位置する愛宕山には、中世莫祢氏の本拠地である阿久根城跡があるなど、古代から中世において歴史的に重要な役割を果たした地域といえる。 調査区では、縄文時代から近世までの遺構・遺物の検出・出土を確認した。縄文時代早期では、集石・土坑に伴う政所式土器のほか、腰岳系・針尾鳥系・姫鳥系の黒曜石が出土しており、他地域との交流が行われていたことが窺える。中世は、遺構の検出状況、遺物の出土状況から、溝による土地区画を伴う大規模な開発が13世紀後半以降に行われていたことが想定される。また、中世後半から近世前半にかけての製鉄炉4基を含む製鉄関連遺構を確認した。立地や形態がこれまでに確認されている製鉄炉とは異なっており、今後の検討課題である。近世における出土陶磁器の帰属時期は、16世紀末以降から19世紀の年代幅に収まる。なかでも17世紀後半~18世紀前半の陶磁器が主体を占め、地系陶器に加え、肥前系の陶器が多く見られるのが特徴である。	辻 山川 (上床)
								古墳時代		東原式土器(甕、壺、高坏)等		
								古代	-	土師器(甕・坏・碗等)、須恵器(壺・碗等)、黒色土器B類、越州窯系青磁、土製品、文字資料(ヘラ書き・墨書)【ヘラ書き:土師器、墨書:須恵器】		
								中世	掘立柱建物跡12棟 竪穴建物跡1軒 土坑35基 炉跡3基 溝状遺構8条 礎集積4基(溝内) 石列4基(溝内)	土師器(坏・皿等)、中世須恵器(東幡系・産地不明等)、瓦質土器(摺鉢・火鉢・風炉等)、国産陶器(摺鉢・甕等)【備前・常滑等】、青磁(碗・皿・坏等)【龍泉窯系・同安窯系等】、白磁(碗・皿・合子等)【中国を基本として朝鮮も含む】、青花(碗・皿等)【景德鎮窯・漳州窯等】、輸入陶器(壺・甕・瓶等)【中国南部・タイ産等】、滑石製石鍋、石鏝(石鍋転用)、茶臼、銭貨(洪武通宝)、火打石、天草砥石		
								近世	掘立柱建物跡1棟 土坑9基	陶器(薩摩焼・備前焼等)、磁器(肥前、古伊万里等)、金床石		
								鍛冶・製鉄関連遺構	製鉄炉4基 竪穴建物1棟 土坑13基 炉跡19基	陶器(薩摩焼・備前焼等)、磁器(肥前、古伊万里等)、鉄製品、鉄滓、羽口、炉壁等		
その他	土坑20基 炉跡7基 柱穴・ビット974基	天草砥石、打欠石、碁石、硯、銅製品、古銭、鉄製品										
8	玉利	指宿市十町	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	国道226号北十町歩道整備	整理・報告書刊行	-	R5	弥生時代 古墳時代	ビット40基 土坑1基	土器 弥生時代中期 弥生時代後期~古墳時代初頭 古墳時代後半 石庖丁、凹石、砥石、軽石製品	遺跡は、指宿市街地の北部に所在し、西側の山裾から東側の海岸へ緩やかに傾斜する火山性扇状地上に位置する。遺跡では、開闢岳の噴出物である紫コラ、青コラ、暗紫コラの堆積も確認された。 主な遺構としてビットが検出され、遺物は弥生時代後期~古墳時代初頭を主体とする多量の土器片が出土した。 出土遺物のうち、炭化物が付着しているものは年代測定及び安定同位体分析を実施し、内容物の検証を行った。また、土器圧痕分析により当時集落に存在した植物についても考察を行った。石器については、石庖丁の使用痕分析を依頼し、使用対象物を検討した。	眞邊
								時期不詳	-	石匙、鉄製品		

整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象の面積(㎡)	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
9	南水ヶ池B	志布志市志布志町帖	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	国道220号油津・夏井津道路建設	整理	-	R5 R6	旧石器時代 ナイフ形石器文化期	-	石鏝、搔器、剥片、プランティングチップ	遺跡は、市街地の東側、志布志湾を望む標高約55mの台地上に位置し、南西約1.5kmには国史跡の志布志城跡がある。中近世の古道及び溝状遺構が多数検出された。志布志方面から夏井を通り串間方面へ向かう交通の要だったと推定される。遺構周辺や溝内からは、中国製陶磁器の華南三彩鳥形水注や青白磁等が出土した。縄文時代早期には、調理用施設と思われる連穴土坑や集石が検出された。集石の隣と周辺の礫が接合して、台石等の石器になることも確認された。また、旧石器時代の層からは、細石刃と呼ばれる石器や、動物の皮をなめすスクレーパー、穿孔具である石器などが出土している。	大保 上床
								旧石器時代 細石刃文化期	-	細石刃		
								縄文時代早期	連穴土坑1基 集石4基	倉園B式土器、石坂式土器、桑ノ丸式土器、打製石鏃、磨敲石、石鏝		
								縄文時代中期	落とし穴1基			
								縄文時代後期	-	中岳II式土器		
								弥生時代	-	刻目突帯文土器、高橋式土器		
								古墳時代	-	成川式土器		
								中世	溝状遺構13条 古道(硬化面)13条	玉縁口縁白磁、青磁碗、華南三彩鳥形水注、青白磁双耳壺、青花(碗・皿)、土師器		
時期検討中	-	溝状遺構4条 古道(硬化面)5条 土坑14基(中世以降)										

※これらの成果は、今後、整理作業を進めていく中で再評価される可能性があります。
利用の際は、埋蔵文化財センター、埋蔵文化財調査センターへ確認、使用承諾を得てください。

1 資料調査・貸出等

資料調査受け入れ数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
8	4	14	0	0	0	3	29

調査遺跡数	調査遺物数
のべ118	(4452) ほか一式

写真・図版貸出数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
4	5	2	7	0	1	2	21

写真・図版・遺物・剥ぎ取り資料貸出数

遺跡数	点数
のべ165	1,843

遺物・剥ぎ取り資料貸出数

博物館等	行政	大学	小中高	自治会等	企業	研究会	合計(件)
12	9	3	0	0	0	0	24

主な貸出先

国立歴史民俗博物館, 九州国立博物館,
鹿児島県歴史・美術センター黎明館 ほか各博物館等

2 ホームページ(<https://www.jomon-no-mori.jp>)アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	7,755	21,033	18,613	17,237	9,496	13,903	16,052	13,555	11,013	12,232	10,471	10,912	162,272

3 データベース登録数(ホームページにて検索可能)

No	登録遺跡名	登録遺物		登録遺構		
		登録実測図	登録写真	登録実測図	登録写真	
1	黒川洞穴	553	254	17	9	
2	廣牧遺跡	429	270	669	15	
3	久保田牧遺跡2	57	57	14	13	
4	立塚遺跡	11	10	0	0	
5	光台寺跡	30	26	3	3	
6	照信院跡	56	51	22	6	
7	大願寺跡	19	19	11	6	
8	平佐焼窯跡	737	0	16	16	
9	六反ケ丸遺跡 4	293	177	17	11	
10	萩ヶ峰遺跡	587	422	18	13	
11	白水B遺跡	20	20	4	2	
12	山ノ上A遺跡	44	43	0	0	
13	白AB遺跡	13	13	0	0	
令和5年度合計		遺跡数 : 13	2,849	1,362	791	94
累計		遺跡数 : 516	635,687			

4 分析・保存処理点数(令和6年度中に処理が完了した遺物数)

No	処理名	処理点数	遺跡名
1	金属器処理	83点	川久保, 数領, 尾長谷迫, 平佐焼窯跡群, 萩ヶ峰, 照信院跡, 光台寺跡, 西田橋移設復元工事
2	木器処理	52点	鹿児島城跡(犬追物馬場・火除地)
3	分析(蛍光X線, 赤外線, レントゲン)	298点	立塚, 北山, 名主原, 鹿児島城二之丸, 新城跡, 久保田牧, 柳迫, 諏訪ノ前, 南水ヶ迫B

5 研修・講座等

埋蔵文化財専門職員養成講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	埋蔵文化財基礎講座	7月19日	5市4町のべ14人
2	埋蔵文化財技術研修講座(調査技術)	8月22日～8月23日	5市6町のべ14人
3	埋蔵文化財技術研修講座(調査研究法)	2月13日～2月14日	13市8町のべ32人

教員の研修講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	フレッシュ研修講座 「体験・体感 縄文の森」	8月8日～8月9日	初任者4人 9日のみ3人
2	パワーアップ研修(10年経験者研修) 「体験・体感 縄文の森」	7月25日～7月26日 8月1日～2日	小・特・養・栄:10人 中・高:10人
3	地域体験研修(フレッシュ研修)・課題研究Ⅱ(パワーアップ研修)	8月19日～8月20日・8月22日	教職員:10人

6 普及・啓発関係

鹿児島県立埋蔵文化財センター遺跡フォーラム2024

開催日	会場	内容	参加者数
令和6年11月2日	鹿児島市	かごしま遺跡フォーラム 新発見かごしまの遺跡2024	80人

遺跡公開(現地説明会等)

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
名主原遺跡	鹿屋市	8月27日	現場公開	57
下城跡	始良市	12月22日	現地説明会	160
合 計				217

(公財)埋蔵文化財調査センター実施分

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
南水ヶ迫B遺跡	志布志市	12月7日	現地説明会	105
南水ヶ迫B遺跡	志布志市	1月22日	遺跡見学	1
野首遺跡	志布志市	1月22日	遺跡見学	1

発掘体験等

遺跡名	場所	期日	内容	学校名等	員数
下城跡	始良市	6月19日	遺跡見学・発掘体験	始良市立北山小学校5・6年生	16人
名主原遺跡	鹿屋市	7月23日	遺跡見学・発掘体験	鹿児島市立西陵小学校3年生	1人
合 計					17人

職場体験学習・インターンシップ等

期 日	体験者等	内容	員数
5月7日～9日	霧島市立国分中学校3年生	職場体験学習	3人
5月14日～16日	霧島市立隼人中学校3年生	職場体験学習	3人
5月14日～16日	霧島市立国分南中学校3年生	職場体験学習	3人
5月22日～24日	霧島市立舞鶴中学校3年生	職場体験学習	4人
7月30日～31日	霧島市立横川中学校1年生	インターンシップ	1人
合 計			14人

まいぶんキット貸出事業(ワクワク考古案を含む)

貸出内容						貸出対象数
本物の遺物(土器や石器など)をセットにしたものを学校等に貸出し、授業で本物に触れる機会を提供						対象25件, 1,154人以上
	貸出期間	学校等名	市町村名	対象		内容
				学年	児童・生徒数	
1	4月19日	国分南小学校	霧島市	6	88	縄文人の暮らし
2	5月17日	国分南中学校	霧島市	1	140	縄文人の暮らし
3	5月27日	秦野小学校	志布志市	6	8	縄文人の暮らし
4	5月29日	伊敷小学校	鹿児島市	6	62	縄文人の暮らし
5	5月31日	尾野見小学校	志布志市	6	10	縄文人の暮らし
6	6月1日	県歯科医師会			18	鹿仏殿釈
7	6月1日	東谷山小学校	鹿児島市	6	125	キット貸出のみ(土器・石器等)
8	6月3日	和泊小学校	和泊町	6	34	キット貸出のみ(土器・石器等)
9	6月3日	波野中学校	肝付町	1	3	キット貸出のみ(土器・石器等)
10	6月14日	国分西小学校	霧島市	6	116	縄文人の暮らし
11	6月15日	小山田小学校	鹿児島市	6	11	キット貸出のみ(土器・石器等)
12	6月19日	米ノ津東小学校	出水市	6	58	縄文人の暮らし
13	5月29日	野神小学校	志布志市	6	22	縄文人の暮らし
14	7月5日	細山田中学校	鹿屋市	1	32	縄文人の暮らし
15	7月10日	伊作小学校	日置市	6	35	縄文人の暮らし
16	7月12日	花岡中学校	鹿屋市	1	38	縄文人の暮らし
17	10月2日	古田小学校	西之表市	1~6年	20	種子島の遺跡
18	10月3日	現和小学校	西之表市	3~6年	21	種子島の遺跡
19	10月3日	上西小学校	西之表市	3~6年	13	種子島の遺跡
20	11月27日	鹿児島南特別支援学校	鹿児島市	中学部 1~3年	18	縄文人の暮らし
21	12月5日	面縄中学校	伊仙町	1~3年	66	徳之島の歴史
22	12月6日	喜念小学校	伊仙町	1~6年	18	徳之島の歴史
23	12月6日	面縄小学校	伊仙町	5・6年	40	徳之島の歴史
24	1月22日	国分小学校	霧島市	6	134	国分小周辺の遺跡や歴史
25	1月27日	ジュニア・リーダー研修会		中1~高3	24	縄文人の暮らしと県内の遺跡
合計						1154

※「ワクワク考古案」とは、専門的な知識を持ったセンター職員が、学習指導案を作成し、本物の資料や発掘調査の成果等を効果的に使用して行う授業支援。

おでかけ体験隊支援

支援内容						対象数
土器、石器等の実物資料を活用した教育活動の支援と郷土教育推進を目的とした「上野原縄文の森」主体の出張講座で、埋文センター職員は随時支援を行う形で行っている。						対象6件, 432人以上
	出期間	学校等名	市町村名	対象		内容
				学年	児童・生徒数	
1	5月17日	国分南中学校	霧島市	1	140	火おこし
2	5月29日	伊敷小学校	鹿児島市	6	58	火おこし
3	6月14日	国分西小学校	霧島市	6	119	火おこし
4	6月19日	米ノ津東小学校	出水市	6	51	火おこし
5	7月5日	細山田中学校	鹿屋市	1	31	火おこし
6	7月10日	伊作小学校	日置市	6	33	火おこし
合計						432

7 刊行物等

発掘調査報告書

No	シリーズ	発掘調査報告書名	所在地	執筆担当	発行月
1	セ227	柳迫遺跡	曾於市末吉町	上浦麻矢・黒川忠広	令和6年12月
2	セ228	立塚遺跡2	鹿屋市吾平町	藤島伸一郎・山下智沙子	令和7年2月
3	セ229	高橋貝塚2	南さつま市金峰町	堂込秀人・宮崎大和	令和7年3月
4	セ230	中組遺跡	大島郡天城町	上浦麻矢・星野清・黒川忠広	令和7年3月
5	セ231	鹿児島城二之丸跡	鹿児島市	星野清・黒木梨絵・平美典	令和7年3月
6	セ232	久保田牧遺跡3 (縄文時代前期中葉～古墳時代編)	鹿屋市吾平町	森えりこ・楸田岳志	令和7年3月
7	セ233	二子塚B遺跡	曾於郡大崎町	廣栄次・中野智也	令和7年3月
8	セ234	八重石遺跡	西之表市馬毛島	中野智也・堂込秀人	令和7年3月
9	財57	玉利遺跡	指宿市十町	眞邊彩	令和7年3月
10	財58	山借シ遺跡	大島郡喜界町	小野恭一	令和7年3月
11	財59	新城跡	阿久根市山下	弓場隆章・北園和代・川口雅之	令和7年3月
12	財60	諏訪ノ前遺跡	阿久根市波留	松山初音・平嶺浩人・北園和代・川口雅之	令和7年3月
13	財61	北山遺跡2	阿久根市山下	辻明啓・山川正樹・上床真	令和7年3月

埋文だより(各2,400部発行)

No	シリーズ	内容	発行日
1	93号	黒川洞穴里帰り展, 発見! 発掘速報, わくわく考古楽授業支援(出前授業), 現地説明会を実施(名主原遺跡), 暑さに負けずパワーアップ! 各種研修を実施, 令和6年度発掘調査予定遺跡, 自宅で遺跡を見学しよう	9月30日
2	94号	かごしま遺跡フォーラム, 発見! 発掘速報, 現地説明会を実施, ワクワク考古楽in徳之島, 河コレ遺跡巡り(宇宿貝塚), 自宅で遺跡を見学しよう	2月28日

8 鹿児島県立埋蔵文化財センター来所者数(令和6年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個人	小学生	14	155	3	97	161	3	77	27	6	7	0	30	580	
	中学生	46	29	1	13	54	5	0	0	0	1	1	3	153	
	高校生	1	3	36	3	16	5	2	36	0	0	0	3	105	
	一般	145	147	81	149	248	95	153	194	133	156	140	293	1,934	
	その他	12	3	4	16	59	6	9	13	6	14	3	16	161	
	計	218	337	125	278	538	114	241	270	145	178	144	345	2,933	
団体	小学生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	小学生	14	155	3	97	161	3	77	27	6	7	0	30	580
		中学生	46	29	1	13	54	5	0	0	0	1	1	3	153
高校生		1	3	36	3	16	5	2	36	0	0	0	3	105	
一般		145	147	81	149	248	95	153	194	133	156	140	293	1,934	
その他		12	3	4	16	59	6	9	13	6	14	3	16	161	
計		218	337	125	278	538	114	241	270	145	178	144	345	2,933	

9 (公財)鹿児島県上野原縄文の森との連携

企画展・特別展関係

No	開催期間	企画展テーマ	講演会期日	職名・講師	講演会参加者数	総来園者数
第69回	4月27日 ～9月23日	「歴史のかけはし ～「史跡」でたどるかごしまの歴史」	6月1日	(公財)上野原縄文の森事業推進員	49	9,716
			9月7日	(公財)上野原縄文の森事業推進員	38	
第70回	10月5日 ～12月8日	「新発見！かごしまの遺跡2024～発掘調査速報展～」	11月2日	鹿児島県立埋蔵文化財センター職員 (公財)埋蔵文化財調査センター職員	80	5,982
第71回	12月21日 ～3月9日	「人と遺跡のものがたり ～かごしまの考古学研究史～」	2月8日	鹿児島県文化財保護審議会 会長 本田 道輝 氏 文化庁文化財第二課 主任文化財調査官 近江 俊秀 氏	112	2,375

考古学講座

No	期日	タイトル	講師	参加者数
第1回	4月20日	「探検！上野原遺跡」	上野原縄文の森職員	22
第2回	5月25日	「はじめての考古学～かごしまの平安時代～」	(公財)埋蔵文化財調査センター 調査第三係長 上床 真 氏	29
第3回	6月22日	「南の縄文文化」	上野原縄文の森職員	59
第4回	10月26日	「古の海岸線を歩こう～鹿児島神宮周辺を巡る～」	鹿児島大学 名誉教授 森脇 広 氏	34
第5回	2月22日	「埋文センターの30年」	鹿児島県立埋蔵文化財センター 所長 中村 和美 氏	46

テーマ展示(常設展示コーナー)

	期日	展示内容
第1回	10月5日～5月13日	テーマ展示 I「弥生」

鹿児島県立埋蔵文化財センター

研究紀要・年報 **縄文の森から** 第18号

発行年月 2025年10月

編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号

TEL 0995-48-5811

E-mail maibun@jomon-no-mori.jp

URL <https://www.jomon-no-mori.jp>

印刷 有限会社 国分新生社印刷

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久627-1

Bulletion of Kagoshima
Prefectural Archaeological Center

From JOMON NO MORI

No. 18 CONTENTS

Introduction of excavated materials at the Hoshizako site,
Kajiki-cho, Aira City (2)

Kagoshima Prefectural Archaeological Center

The Suruga Bay-type pottery fragments excavated from
the Komaki site in Kanoya City

Kitazono Kazuyo

T Consideration about medieval toilet remains
in Kagoshima Prefecture

Hiramine Hiroto

The emergence and materials for flint
in Satsuma and Osumi

Fujiki Satoshi

Annual of Kagoshima Prefectural Archaeological Center of the
6nd year in Reiwa.

Kagoshima Prefectural Archaeological Center
October 2025

研究紀要・年報

縄文の森から

第
18
号

二〇二五

鹿児島県立埋蔵文化財センター